

令和6年度 第1回摂津市民図書館等協議会 要点録

日時:令和7年6月23日(月)

10時00分～11時30分

場所:摂津市民図書館 3階大会議室

出席委員: 8名

欠席委員: 2名

事務局: 4名

図書館 : 4名

- 案件 1. モニタリング評価結果報告(令和6年度第4四半期)及び令和6年度総合評価
2. 第5次摂津市子ども読書活動推進計画
3. 図書館等協議会員改選

(1)モニタリング評価結果報告(令和6年度第4四半期)及び令和6年度総合評価について

(事務局) — モニタリング評価結果(令和6年度第4四半期)及び令和6年度総合評価について説明 —

(委員) 昨年度の評価と比較し、特に高齢者、障害者、外国人への施策の点数が下がっている印象を受ける。

なぜなのか疑問が残る。分析するように。

(委員) 指定管理者の評価が70.9%であり、75%以上でB評価になるため、C評価ではあるが、基本的にB評価に近いC評価であるという印象を受ける。

(事務局) —トイレの改修について、説明—

改修中に2階と3階の開放だけでもできないかという意見をいただいているが、結論としては難しいという回答になる。

理由としては2階と3階のトイレの改修も含まれることと、トイレに係る配管、電気設備等全て改修するためである。壁や天井に穴をあけることになり、騒音や利用者への危険性を考えると開放することは難しいと判断している。

ただ、工事の進捗に伴って、部分的に開放をしていくことを検討しており、年明け以降はその可能性があると考えている。

(事務局) 聴覚障害者への施策として、ヒアリングループの導入を検討いただきたいという意見をいただいているが、これについて委員の皆様のご意見をいただきたい。

静かな図書館の中で、補聴器に加えてヒアリングループが必須になる利用者の場合、図書館の中では問題ないが、図書館以外での日常生活や仕事で

等で危険が及ぶ可能性が高いのではないかと不安視している。であれば、図書館にヒアリンググループを導入することよりも先に医師に相談し、障害者手帳の等級や補聴器の新調等が優先度として高いのではないかと考えるが、どうか。

(委 員) 今説明があったように、重要ではあるが、図書館という静寂の雰囲気の中で優先順位としては高くはないと考える。声を少し大きくする、ゆっくり話す、筆談をする等、方法はいくつかあると考える。

(委 員) 市役所の窓口などで完備されている状態で次に図書館の整備であれば理解できるが、市役所内での整備が整っていないのであれば、そちらが優先的であると考えます。

(委 員) そもそも利用者からヒアリンググループを導入してほしいという意見があったか。委員からの意見であれば、事務局の考えで正しいと考えるが、利用者から意見が出ているということであれば優先順位は変わってくると考える。

(図書館) 今までにそのような意見は聞いたことはない。

(委 員) 図書館という施設の性質上、話すときも小さい声で話すと思う。であれば、やはり静かな環境であろうと、聞き取ることが難しい状況であることに変わりはないであろう。

(委 員) 図書館だけで終わらせていい話ではないと考える。例えば、講演会などの規模の大きいイベントの方が必要性は増すであろう。そのように考えると、図書館として考えるより先に、市全体として考える方が先であると考えます。

(委 員) 例えば、京都市で言うと、市としてヒアリンググループの導入を実施している。決して図書館だけの判断ではない。

(委 員) 図書館としての優先度は高くはないかもしれないが、このように声を上げることは大切だと考えている。

(事務局) 関係部署に共有する。

(委 員) ヤングアダルトコーナーを利用する方が少ない件について、ヤングアダルトコーナー専用のご意見箱等設置してはどうか。若者の流行や意見を取り入れることも重要だと考える。

また、SNS を活用した広報の中で、事前応募などが必要なイベントを掲載するだけでなく、図書館で日常的に行っていることや、展示や投票系のイベントの広報もすべきかと考える。

(図書館) 実施の方向で検討する。

(委 員) 職場体験については、単純に体験して終わりというものなのか。

(図書館) 体験のみで終わるものではなく、その後感想文や今後のイベントへのアンケートのようなフィードバックは取っている。

(委 員) セタやクリスマスなど、世間的なイベントの期間中に中高生から意見が取りやすい方法を取ることが効果的ではないか。

- (図書館) 実施の方向で検討する。
- (委員) 摂津市に限らず、全国的に本を読まない上に図書館などに足を運ばない子どもが多いことが現状。
これを踏まえて、中高生全員に図書貸出券を発行する等、足を運ぶきっかけを作ってあげることが重要であると考える。
- (委員) 図書貸出券を作ろうと図書館へ足を運んだ子どもが、本人確認証が必要だと分かって、その後めんどくさくなってしまい、作ることを諦めるという話を実際に聞くことがある。役所の手続き的により簡単に済ますことができるなど、図書館に結び付くまでのハードルを下げるよう検討することも大切だと考える。
- (事務局) 手続きに手間がかかるということは行政的な課題として長らく言われている。そして現在、図書館としてではなく、摂津市として、その課題に取り組もうという動きがあるため、すぐにという話は難しいが、市全体として改善に取り組む見込みである。

(2) 第5次摂津市子ども読書活動推進計画

- (事務局) 策定が完了し、製本したものを配布するため、確認よろしく願います。
- (委員) 読書アンケートに協力してくれた市民の皆様にはお礼をしたいが、可能か。
- (事務局) アンケートは、完全匿名で行ったため、協力いただいた市民全員は難しいが、こちらから依頼した関係機関を通して全体へお礼をすることは可能である。
- (委員) お礼だけでなく、計画を通して見えてきた課題なども改めて共有し、関係機関全体で取り組んでいく意識を大切にしたい。

(3) 図書館等協議会委員改選

- (事務局) 現在の委員については、7月末を持って任期が終了となる。令和7年度第1四半期のモニタリング評価をしていただくところまでが現在の委員の皆様をお願いすることとなるため、よろしく願います。